

平成28年2月16日

全員協議会説明資料

平成28年度
氷見市予算（案）の概要

平成28年度氷見市予算（案）の概要

地方創生をかたちにしていく元年というべき平成28年度にあたり、人口の増加という、まだ見ぬ目標に向けて、氷見での暮らしが支持をされ、これと並行して氷見市で人生を輝かせようとする市民を育て、あるいは子どもたちを育て、その子どもたちが成長とともに回遊し、子どもを産み育て、また氷見に回帰するという、こういった善循環が広がっていくような地域をつくっていききたいという思いを込めて、また工夫をして予算を編成いたしました。

さて、日本の人口が向こう50年間で半減するという急激な人口減少時代に突入し、本市の人口は、昨年10月の国勢調査速報値によれば、48,012人と、5万人を割り込む結果となりました。氷見市は、今まさに、ふるさとの未来の岐路に立っておりますが、「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもとで、「人口減少をくい止める」または「人口増につなげる」ための政策を総合的かつ強力に展開してまいります。

地方創生の実現にあたっては、行政が明確なビジョンを示しつつ、適切なりーダーシップを発揮することにより、企業・団体等の役割や市民・家庭の関わり方などを施策・事業の中にしっかりと組み込んでいくことが重要であり、こうしたことから市民や企業・団体等の「おらっっちゃ創生」を積極的に応援していく予算となっております。この「おらっっちゃ創生」を社会運動へと発展させる取り組みを推進することで、まちなか・里海・里山のポテンシャルを引き出し、住民一人ひとりが、それぞれのライフスタイルに合った暮らしが続けられる地域を創り上げてまいります。

また、それぞれの施策・事業について経過や成果を検証するシステム、いわゆる「Himi Stat」を構築し、変化する時代環境の中で迅速な意思決定と対応を可能にし、投下した資源が市民の幸せづくりに最大の効果をあげるよう、継続的な改善・工夫に取り組んでまいります。

平成28年度一般会計予算は、209億1,000万円と、前年度比ほぼ同額で、率にして0.4%の増（8,300万円）となっております。平成27年度で氷見南インター線道路改良事業や氷見駅前整備などの大型事業を概ね終えながらも、本年度は地方創生の各種の事業に重点的に配分した積極型予算となっております。

歳入については、市税は、家屋数の増による固定資産税の増や軽自動車税の税率の見直しにより増に、人口減少の影響による個人市民税の減を合わせ、前年度比0.2%減となるものの、まち・ひと・しごと創生事業費の増などにより、地方交付税増を前年度比3.3%と見込んでおり、最終的な一般財源総額では、前年度対比2.8%の増と

見込んでおります。

また、歳出については、地方創生総合戦略基本目標のⅠ「安定した雇用を創出する」におきまして、企業誘致活動を強化するための経費を計上したことに加えまして、自分の夢を実現するために起業を志す市民への支援事業、特に若者や女性が働きたくなる「しごとづくり」や「地域おこし協力隊」を中心とした社会課題のビジネス化など、新分野での「しごとづくり」にも取り組んでまいります。

基本目標Ⅱ「新しい人の流れをつくる」では、「ふるさと定住促進事業」について、助成内容の大幅見直しと増額を行うなど、移住・定住の事業メニューを充実したほか、藤子不二雄^④先生、王貞治氏、浅野総一郎翁などの、本市ゆかりの方々のご縁を生かした多彩な交流事業を展開してまいります。

基本目標Ⅲ「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」では、不妊治療費に係る助成の拡大、子どもの医療費助成に係る所得制限の廃止、保育料軽減制度の拡充など、経済的負担の軽減に努めてまいります。また、公立保育所整備計画の調査や統合校の整備推進など、ハード面においても、保育園と中学校の環境の向上に取り組んでまいります。厳しさを増す都市間競争の中で、恵まれた自然環境のみならず、子育て支援の制度においても優位な環境を整え、子育てしやすいまちをつくりあげてまいります。

基本目標Ⅳ「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」では、節目年齢の女性を対象とした乳がん・子宮がん検診の無料化及び若年世代の自己負担額の引き下げ、託児付検診の実施など、女性の健康づくりを支援するほか、「未病」をキーワードとした新たな健康づくり活動の推進を図ってまいります。市民生活の安心・安全では、窪地区防災センターの整備、防災ラジオの導入や介護基盤施設の整備に加え、小規模多機能自治への本格実践、様々なお悩みをお持ちの方々の相談機能の充実など、福祉関係者の皆様のご協力をいただきながら、きめ細かな福祉事業に取り組んでまいります。

また、北の橋や朝日山公園など、都市の回遊性の創出とシビックプライドを育む施設の整備や、「地域100年の大計」となるランドデザインの具体化、新文化施設の基本計画の策定などを精力的に進めるとともに、氷見伏木線や鞍川霊峰線などの主要幹線道路の進捗も図ってまいります。

さらに、環境サミットの開催に合わせて、海浜植物園を拠点とした環境プログラムを推進してまいります。

事業会計は、38億9,725万円を計上しており、水道事業会計では老朽管更新事業費を増とする一方で、病院事業会計で公債費の元利償還金が減となることから、前年度比で6.1%の減となっています。

基本目標Ⅳ（時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する）
「暮らし続けられるまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する」への対応

41 件
1,372,222 千円

3 事業会計・特別会計予算の特徴

- | | |
|------------------|--------------------|
| (1) 水道事業会計 | 老朽管更新及び上田子浄水場耐震化事業 |
| (2) 病院事業会計 | 医療機器等の整備 |
| (3) 下水道特別会計 | 下水道施設長寿命化対策工事 |
| (4) 介護保険特別会計 | 第6期介護保険事業計画の実施 |
| (5) 漁業交流施設事業特別会計 | 「ひみ漁業交流館魚々座」の管理運営 |

〈 主要施策・事業の概要 〉

平成28年度予算（案）のうち、主要な取り組みとなる施策・事業の概要は、次のとおりです。（「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策の体系に沿って記載しています。）

1 氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

(1) 氷見市の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かしたビジネス化の実施

現状の氷見市において「稼げる産業」や「今後稼げるようになるべき産業」を強化・育成してまいります。

創生総合戦略を着実に推進するために、市民や地域、団体が地方創生を「自分ごと」ととらえてアクションを起こし、それが「みんなごと」、「世の中ごと」へと広がり、さらに新たな「自分ごと」が生まれていくような好循環を生み出すため、おらっちゃん創生を実践している人等の活動をタブロイド版に編集して市内全戸に配布します。タブロイド版の作成については、移住者からの視点で取材し、編集してもらうことで、新たなしごとづくりにもつなげてまいります。

また、新たに地方創生アドバイザーを設置して、地域資源を活かした「しごとづくり」を積極的に仕掛けてまいります。

本市の里・山・海の幸の魅力や特性を活かした産業の創出、とりわけ「魚食文化」×「女性の感性」による新産業の創出などを支援するため、創業理念の醸成や支援者の輪を広げるドリムプラン・プレゼンテーション研修や経営スキル研修を行います。

また、創業初期の事業所開設や情報発信などに必要な資金を支援し、創業を促進してまいります。

都市部から移住して活動を行う「地域おこし協力隊」隊員を昨年に引き続き募集し、地域資源を活用した都市住民との交流や地域づくり協議会と協働した地域課題解決の取り組みなどが、隊員の就業や起業に結びつくよう支援してまいります。併せて、隊員の空き家等への移住定住を促進します。

また、大企業から「地域おこし企業人」を招聘し、企業でのノウハウや知見を活かして本市の活性化を図ってまいります。

平成27年度は、10月から12月にかけて展開された「北陸ディスティネーションキャンペーン」をはじめ、北陸新幹線開業に併せた多くのプロモーションの実施により、氷見市では、市内宿泊施設への県外からのお客様が対前年比約3割増加するなど、多くの皆様に北陸、氷見へお越しいただきました。

平成28年度は、これを一時的なものとすることなく、さらに持続・発展させていくための重要な年であると位置づけています。このことから、特に観光情報を発信する観光広報力の強化は喫緊の課題であり、マスメディアでの露出増加を目的とした首都圏テレビ局、番組制作会社、出版社への働きかけの強化など、観光協会とともに観光広報力の強化に向けた取組を実施します。また、氷見の食の魅力をもっと高めるイベントを開催します。

幅広い市民等の参画を得ながら、海浜植物園を拠点として環境保全活動等を展開・発信する「地球環境防衛隊」の結成に向け、その中心となる隊員や予備隊員、サポーターを育成するための幅広い教育プログラムを実施するとともに、氷見市の優れた環境の保全を通して新しい「しごと」を起業しようとする方々を支援します。

農業者に対して、氷見産園芸作物の生産及び消費拡大を図るため、作物のブランド化や生産強化に資する活動や施設整備に支援します。また、氷見牛のブランド力の向上のため、子牛を購入または生産した畜産農家や牛舎等の施設整備に対して支援を行い、生産基盤の拡大強化を図ります。

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地・農業用施設の保全管理、施設の長寿命化や中山間地域で協同して取り組む生産活動等を支援します。また、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援を行い、環境保全の向上を図ります。

水産業では、氷見高校海洋科学科や水産加工組合などが行なう、新たな水産加工品の開発などに対し、引き続き支援していくとともに、各種講座や給食を通して、消費者や園児・児童・生徒が豊かな海の恵に対する理解を深めることにより、水産物の消費拡大へとつなげていきます。

また、県営漁港の氷見漁港北沖防波堤の機能強化工事の促進、藪田・女良漁港の長寿命化工事など漁港環境整備を行い、漁業者が働きやすい環境づくりに努めます。

(2) 氷見市内での資金循環の維持・加速

「今まであったが、今後なくなると想定される企業を継続させる」「ニーズはあるが、今までにないビジネスを生み出す」ことによって、資金循環を維持・加速させてまいります。

企業誘致の強化策として、企業に対して立地の魅力を強力にPRするため、小矢部市及び高岡市とともに広域的な誘致活動を推進するとともに、能越自動車道によるアクセス向上のメリットを企業誘致に生かすため、インターチェンジ付近の工場適地調査を行います。

ふるさと納税につきましては、昨年、インターネットによるクレジット決済の導入や御礼の品の内容を質・量ともに充実したことで大幅な増額となり、併せて、本市の特産品の需要が高まることで市内の経済循環の活性化に寄与することができました。今後は、御礼の品の品質向上、新規のサービスの提供など、御礼の充実に加えて、ふるさと納税サイトへの広告の掲載などによりPRを強化して、ふるさと納税の更なる拡大を目指します。

中心市街地商店街につきましては、各店舗に対して、継業など今後の意向調査を実施し、商店街の実態を検証するとともに、空き店舗や空き地などの資産の有効活用について、所有者、専門家を交えながら検討します。

また、北の橋の架け替え工事が実施されることから、周辺の商店街を中心とした賑わい創出を支援します。

(3) 子育てと両立する創業・雇用の創出

働きやすい職場環境を整えることで市内企業の魅力が高まるよう、また、働く方にとって仕事と家庭の調和がとれるよう、有給休暇の取得しやすい職場、女性が活躍できる職場、子育てしやすい職場づくりなどのワークライフバランスの推進に取り組んでまいります。

2 「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する

(1) 様々な世代の氷見出身者の還流（ふるさと氷見での人材の定着）

氷見市で生まれ育った人のうち、氷見市外に出て行った人が戻ってくる取り組みと同時に、氷見市に住んでいる人が氷見市に残り続けたいと思う取り組みを行います。

まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる150人の社会増を実現するため、移住・定住対策として、20代のUIJターン者、医療介護人材や市外に住みながら市内の事業所で働く方や、子育て世代・新婚世帯など、呼び込みたいターゲットを明確にしながら、その住宅取得に対して、助成金額に加算制度を設けるなど、氷見に住み続けるきっかけとなるよう住宅支援制度を拡充します。

併せて、空き家等の賃貸住宅への家賃補助も拡充し、空き家の利用促進を図るとともに、転入者の受け皿づくりに努めます。

また、三世代同居・近居を促進するため、持ち家の増改築等に係る費用の助成制度を創設します。

「中学生ふるさと発見塾」など、中学生の頃よりふるさとについて学び、郷土愛を育成することによって、氷見市に貢献しようとする意欲を高めるとともに、進学等で一旦氷見を離れた若者が将来的にふるさとに戻ってきやすくなるような仕組みづくりに努めてまいります。

(2) 「里海での生活と里山での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住の実現

氷見市の自然（海も山も同時に楽しむことができる自然）や食に惹かれた人たち

が移住・定住をする取り組みを行います。

移住希望者の不安や心配を和らげるために、移住コンシェルジュが氷見市内を案内し、氷見での暮らしの価値や出会いを体験してもらうことで、移住者の増加を図ります。また、氷見での暮らしぶりや地域の人々を取材し、これをWEBマガジンを通して紹介することで、氷見への移住者を広く募ってまいります。

また、定住受入モデル地区となっている速川地区については、ホームページを活用した情報発信を支援するなど、地域の移住への取り組みを推進してまいります。

古民家等を用途に応じて改修する場合に建築基準法の適用除外が可能となる地域ルール（条例の制定）をつくり、古民家等を活用したクリエイティブ人材の新しいライフスタイル、起業スタイルを受け入れることができる環境を整備します。

また、空き家の流通を図るために、不用品の整理や改修等に要する空き家のリノベーション費用を支援します。

漁業交流施設「魚々座」においては、豊かな海の恵みに育まれた氷見の漁業文化や、外部からの視線がとらえた氷見の潜在的な魅力を様々なカタチで発信するとともに、次代を担う子供たちへの継承と学びのフィールドづくりのためのプログラム開発など、大学、企業や市民団体との協働による事業活動の展開を目指します。

(3) 氷見ならではの魅力・強みを生かした交流の実現

文化芸術の持つ力を活用し、子どもから高齢者までが文化的に生き生きと暮らす地域社会を実現するため、学校施設等に芸術家が一定期間滞在し、住民と一緒にあって地域の文化資源を活かした作品制作や文化プログラムを実施する「アーティスト・イン・スクール」に取り組みます。住民が土地の記憶や伝統について見つめ直す機会を提供し、地域の魅力を創造、再認識することでふるさとへの愛着と誇りを醸成します。さらに、氷見の魅力、特に人に焦点を当てた文化芸術情報を市内外に発信することで、文化芸術による人々の交流を促進します。

「スポーツ推進計画」については、「都市ブランディング」、「キャリアデザイン」、「スポーツ施設の再配置」や「地域の元気・健康づくり」等のテーマを設定し、総合的な将来ビジョンを策定します。また、並行してスポーツによるまちづくりを推進するためのモデル事業や啓発事業を実施してまいります。

また、日米のホームランキング王貞治氏とハンク・アーロン氏が提唱してはじめられた「世界少年野球大会」が、高岡市を主会場とした呉西6市で開催されることとなり、氷見市では、小学生の準硬式野球で2チームを結成し、韓国や台湾チームと交流試合を行います。

このほか、「春の全国中学生ハンドボール選手権大会」や「市民体育大会」等のスポーツイベントの実施や2020東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプをはじめとする様々なスポーツ合宿誘致に向けたPR活動を行い、スポーツによる交流人口増を目指します。

学校法人日本体育大学と締結した「体育・スポーツの振興に関する協定」に基づき、「日体幼稚園」の全国最高水準の季節に応じたカリキュラムを学び、そのノウハウを伝達・拡散することで、市内保育所・認定こども園の魅力の向上を目指します。

まんがのまちづくりについては、キャラクターの着ぐるみと記念撮影をしたり、触れ合ったりするキャラクターグリーティングを新たに実施するとともに、プロの講師によるまんがを知る・学ぶ・描くための講座などの文化事業を推進してまいります。

また、潮風ギャラリーにおいては、特別展の開催やホスピタリティの向上、オウンドメディア（自らの所有するインターネットのサイトなど）を構築するなど、昨年スタートした「氷見市 藤子不二雄[®]まんがワールド」を一層充実させ、まんがのまちとしてのグレードアップを図ります。

近年のキャピングカーでの来訪者の増加に対応するため、比美乃江公園周辺での利用状況などを調査研究し、氷見でのRVパークの開設を検討します。また、魚食体験などができる施設としての九殿浜休憩所の整備について、地元や関係機関等と検討してまいります。

2018年に生誕1300年を迎える、大伴家持卿がたびたび訪れた^{ふせのみずうみ}布勢水海などの万葉故地について学び、郷土を愛する心の育成につなげる「氷見の万葉」魅力再発見事業を実施します。平成28年度はキックオフの年とし、市内外の有識者や市民の愛好者と対話し、学びあうとともに、講師を招いての学習会や歌碑めぐりバスツアーを実施します。

3 氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

(1) 若者が早期に結婚し、子どもを中心として家族が幸せを実感できる生活の実現

本市は、婚姻率が県内の中でも低いことから、全国の先進的な取り組みなどを参考に効果的な方策を調査研究し、その導入を検討するとともに、マリッジミーティングといった男女の出会いの場のプロデュースや良縁を仲立ちする縁結びおせっかいさんの活動に支援してまいります。また、懐かしい同級生との再会が縁となりうる同窓会の開催に対する助成など、未婚者の結婚の希望がかなえられるよう様々な取り組みを実施します。

(2) 妊娠・出産に関わる負担の軽減

子どもが授かることを願ってはいるものの、不妊に悩む夫婦が増えています。このため、従来からの不妊治療費助成の補助限度額を年間50万円に大幅に引き上げることに加え、新たに不育症及び男性不妊治療費への助成を開始するとともに、不妊・不育に関する正しい知識の普及を進め、かつ相談体制を整えることで経済的・精神的な負担を軽減します。

また、妊娠・出産・子育て期を通じて、地域の関係機関が連携して切れ目のない支援をしているフィンランドのネウボラを目指した「子育て世代包括支援センター」の開設に向けて調査研究を行います。

(3) 仕事と家庭の両立をしながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現

市内の子育て世代へのアンケートによると、仕事と家庭生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）へのニーズが最も高いことから、企業の経営戦略として位置づける「ワーク・ライフ・バランスフォーラム」や、男性の家事力・育児力アップを図る「イクメン・イクボス養成講座」等を開催し、男女が共に働きやすい就労環境づくりに努めます。また、女性ならではの視点から市政への積極的な参画を推進するため、15年ぶりに「女性議会」を開催します。

子育て家庭の経済的負担を軽減するとともに、子どもの健やかな成長を支援するため、現在中学3年生までを対象としている医療費の助成について、10月から所得制限を撤廃します。これにより、中学3年生までのお子さんのいるすべての家庭が医療費助成の対象となります。

また、保育所や認定こども園などの保育料については、保護者の収入が一定額未

満の家庭の第2子の保育料と、ひとり親世帯等の第1子の保育料を無償にして、多子世帯やひとり親世帯等の経済的負担の軽減を図ります。

保育所や認定こども園の子ども達が、地域の皆さんに協力をいただきながら、土作りから収穫など1年を通じて野菜作りを行い、本物の農業を体験する事業「きときとキッズ農業体験事業」を実施し、子ども達の生きる力を育みます。

祖父母と孫（ひ孫）が一緒に、博物館等の市内公共施設と連携他市の対象施設を訪れた場合に入館料等を無料とする「孫とおでかけ支援事業」を行います。このことにより、子ども達が祖父母と外出する機会を増やし、世代間交流を通じて地域の文化や歴史への関心を広め、生まれ育ったふるさとの愛着と誇りを育みます。

共働き家庭など、放課後に保護者がいない家庭の児童を預かる放課後児童健全育成事業（いわゆる学童保育）については、4月に、新たに仏生寺地区での開設を予定しており、これにより、市内の学童保育は20箇所となります。今後とも、働く保護者が安心して児童を預けられる場を提供するとともに、児童の健全育成にむけて、一層の充実を図ります。

小・中学校の教員が、広く県外の優れた教育方法を学び、体験したりして自らを高め、切磋琢磨しながら資質や能力、指導力を向上させる「氷見の教師未来塾事業」を実施します。これにより、先進的で優れた教育方法を学校現場に取り入れ、子供たちの生きる力を育み、魅力ある教育の充実に取り組みます。

生徒の学習意欲の向上と学習習慣の定着を図るため、各中学校に地域の人材を講師として派遣し、土曜日などに希望する生徒に対して学習支援を行う「中学生未来応援塾」を開講します。

平成29年4月の灘浦中学校と北部中学校の円滑な統合に向けて、スクールバスの購入や車庫の整備並びに授業や学校行事、部活動における交流事業を実施します。

学校給食については、「学校給食のあり方検討委員会」の提言を受け、新たに「学校給食センター整備検討委員会」を設置し、食物アレルギー対策や食育など、新し

い学校給食センターに備える機能等について検討します。

小中学校や障害児支援施設、子育て支援施設に芸術家を派遣するアウトリーチ活動や小学生を対象とした芸術鑑賞会を実施するなど、子どもや障害者、子育て期の母親などが身近に文化芸術に触れる機会を充実させ、多様な創造力を醸成します。

4 暮らし続けられるまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する

(1) 地域に住み続けるための健康的自立（健康寿命の延伸）

「がん対策市民シンポジウム」を開催し、がんに関する正しい知識を啓発し、がんの予防や最新の検診、治療などへの関心を高めます。また、20～39歳の乳がん検診個人負担金の軽減や託児付きの会場を設けるなど、子育て世代が受診しやすい住民健診の体制を整備します。

病気になってから治療するのではなく、普段の生活において、心身の状態を整えて、より健康な状態に近づける、いわゆる「未病対策」について、講演会やセミナーによる啓発普及や効果の実証を行います。また、大学等と連携しながら、「未病対策」としての生活習慣病予防事業を展開し、健康寿命の延伸を図ります。

金沢医科大学氷見市民病院では、へき地医療、小児医療、救急医療などを確実に行いながら、大学病院の機能を生かした高度医療を提供できる地域の中核病院としての役割を果たしてまいります。さらに、乳がんの精密検査を行う高性能のデジタル乳房X線撮影装置を配備するなど、各種検査機器の充実を図り、安全で質の高い医療を提供します。

住み慣れた地域で安心して暮らせる長寿社会の実現に向け、「第6期介護保険事業計画」に基づき、サービス基盤の整備を進めます。

また、地域包括支援センターを中心として介護予防の推進や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みを推進します。さらに、市内4ブロックに認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人と家族が、住み慣れた良い環境で暮らし続けることができるよう、医療機関、介護サービス事業所や地域の関係機関と連携して、その生活を支援します。

(2) おらっちゃ創生（各地域・各団体等による各々の地方創生の推進）による、自分ごと・みんなごと・世の中ごとの好循環の確立

地方創生やまちづくりを他人ごとではなく、自分ごととすることによって、みんなの手で氷見市がよりよい市になるよう循環させていきます。

地方創生の実現に向けて、現在のクリエイト・マイ・タウン事業を「おらっちゃ創生支援事業」と改称し、内容も充実させることで、市民一人ひとり、各地域、各種団体がそれぞれの立場で氷見市の地方創生に貢献する「おらっちゃ創生」活動などを促進します。

(3) 暮らし続けられる地域社会を実現する都市空間設計

地域づくり協議会の組織づくりを促進するとともに、各地域における自治の力を高めるため、旧同窓会館の活用検討、市民要望・市民の声システムの運用による要望等の「見える化」、小規模多機能自治についての勉強会などの取組みを推進します。

あらゆる世代の市民が、安心して快適な生活環境を享受し、財政面や経済面において持続可能な都市経営を可能とするため、公共施設の再配置、医療・福祉施設のあり方や公共交通等のさまざまな都市機能の構造を見直すグランドデザインを策定します。

また、まちなか居住や都市の生活を支える機能を誘導する居住誘導区域や都市機能誘導区域を設定し、行政と住民や民間事業者が一体となってコンパクトな街づくりを目指す「立地適正化計画」を策定します。

魅力ある個性豊かな景観の形成を推進するため、本市独自の景観計画の策定や、景観条例の制定を目指します。併せて、この取組みを市民と協働で進めることにより、一人ひとりの愛着心・シビックプライドの醸成を図ります。

富山県が行う北の橋架替事業に伴い、地元自治会や関係団体で組織する「北の橋整備促進協議会」では、安全な橋梁の整備やより良い環境保全について検討を進めてきました。今後は、協議会から提案された、上庄川沿いの景観を考慮した橋梁のデザイン案の実現に向け、県と協議を進めながら実施設計に取りかかるとともに、皆さまに親しまれる「北の橋」となるよう取り組んでまいります。

朝日山公園整備については、市民自らが「使うこと、つくること、考えること」が実現できる新しい公園として、「朝日山公園市民ワークショップ」を開催し、公園の全体構想と施設のデザインや機能について検討を重ねてきました。平成28年度はワークショップでの意見をふまえて、休憩施設の整備を行います。

また、公共施設や、道路、上下水道などのインフラは、今後一斉に老朽化し、更新時期を迎えることから、公共施設等の将来のあり方を明らかにする「公共施設総合管理計画」の策定を進めています。

今後は、このほど定めた「氷見市公共施設等最適化基本方針」に基づき個別の公共施設等の将来の方向性を決定するなど、持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

家族や地域など周囲との交流がないなど社会的孤立や制度の狭間に陥り、時に孤独死に至るなどの事例も見られることから、様々な福祉に関わる相談に対応し、社会的孤立に陥ることのないよう総合的支援を行う地域のセーフティネットの体制づくりを進めます。

具体的には、福祉の総合相談窓口に、新たにコミュニティ・ソーシャル・ワーカーを配置し、地域、専門機関や行政と連携しながら、複合的な生活課題を抱えた人の把握とともに、適切なアセスメントや支援に取り組めます。

生活保護に至る前段階で、困難な課題を抱える方や家庭を支援し、生活の自立を促すため、従来行ってきた自立相談支援及び就労支援に加えて、家計管理の指導を行う家計相談支援や生活困窮家庭の子どもへの学習支援を行うなど、取り組みを強化します。

住みよい地域社会を実現し、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域間の連携にも寄与するよう、都市計画道路氷見伏木線、市道鞍川霊峰線バイパス整備、市道稲積一勿線道路改良など、市民生活に欠かせない社会基盤である道路の整備を推進します。

水道事業では、老朽化した水道管の更新に併せ耐震化を進めるとともに、上田子浄水場の地震時における配水機能を確保するため、耐震化工事を推進します。

また、簡易水道事業統合計画により、坪池・土倉・赤毛簡易水道について経営の効率化、

健全化を図るため、平成28年4月1日から上水道に統合いたします。

し尿及び浄化槽汚泥を処理するクリーンセンターについては、稼動以来27年を経過しようとしており、主要設備の老朽化が著しいため、汚泥再生処理センターとして改修工事を行い、施設規模の適正化と維持管理コストの軽減を図ります。

イノシシなどの野生動物による農作物被害防止対策については、電気柵等の侵入防止柵の普及が功を奏し、農作物の被害額は減少し、捕獲数は増加しています。

しかしながら、イノシシが増える環境がいまだに残っていることから、イノシシの増加に歯止めがかかりません。今後は、耕作放棄地などのイノシシの隠れ家になるような環境を作らない、また収穫残渣を撤去するなどの対策を集落ぐるみで講じることが重要であり、その取り組みに対して支援します。また、農作物の被害防除のため、侵入防止柵の設置に対する補助も継続して実施してまいります。

気象警報などの防災情報については、現在、防災行政無線のほか、登録者へのメール配信、ホームページなど、複数の手段を利用して市民の皆様に伝達しています。市民の皆様を安心して安全をさらに確保するため、的確に防災情報を伝達することができる防災ラジオの整備を進めてまいります。

また、地域の方々の「共助」による防災活動をより一層推進するため、地域の防災訓練への支援はもとより、防災講演会の開催や地域の防災マップづくりをサポートするなど、地域の実情に応じた主体的な防災体制づくりに対して積極的に支援してまいります。

老朽化した窪地区防災センターについては、窪地区の中心部に新たに整備し、地域の安全安心を一層推進します。

また、広域連携での事故対応、大規模な事故等による多数傷病者発生時の対応のため、最新鋭の化学消防車両を配備します。

悪質商法や特殊詐欺の手口の巧妙化により、本市でも振り込め詐欺などの被害や未遂事件が発生しています。引き続き、地域や関係者の皆様との連携を深めながら、注意喚起の広報を行うなど、被害防止や被害の早期発見に努めてまいります。特に、消費者被害の多くは「一本の電話から」が発端と言われているため、通話録音装置を無償貸与し、高齢者等を狙った電話による被害の未然防止に努めます。

(4) 未来共創型の自治体経営モデルの構築

市内外の多様な主体の人たちと協力しながら氷見市の経営を効率的かつ魅力的なものにしてまいります。

市民の意見や提言を市政に反映するため、地区や女性、希望団体ごとにまちづくりふれあいトークを開催します。また、トーク会場での質疑応答を「見える化」することで、市政への関心を高め、市民と行政による市政運営を目指します。

今後の本市における広報広聴に関する施策を体系的・継続的に推進するための広報広聴戦略を策定します。併せて、情報通信技術を活用するための職員研修や市民ニーズを把握するための調査を実施し、円滑なコミュニケーションを重要視した戦略的な情報施策を推進します。

本市が抱えている少子高齢化や広大な行政区域、地理的不利など様々な地域課題に対応するため、動画を活用した双方向コミュニケーションや市民活動を活性化するサービス基盤の構築（オンライン会議）といった、情報通信技術（ICT）の利活用を推進します。

市民と行政が連携してまちづくりを進める「市民協働」を一層浸透させるため、自治の基本理念や市政運営の基本原則等を規定した自治基本条例を策定します。

地方創生総合戦略に掲げる具体的・客観的な成果指標等に基づき、現状の分析や検証を月次などの短期的な周期で行い、改善に繋げる「HimiStat」を実施することにより、総合戦略全体の効果を高めます。

第8次総合計画については、前期基本計画（平成24年度から平成28年度までの5年間）の期間を1年間延伸することとしており、平成30年度からの後期基本計画の策定に向けて、アドバイザーの助言を受けながら、市民意識等調査・分析を実施します。

平成 28 年度 氷見市 会計別 予算 (案)

(単位：千円)

会 計 別	H28年度 予算額	H27年度 予算額	比 較		財 源 内 訳					備 考
			金 額	伸 率 (%)	国庫支出金	県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
一 般 会 計	20,910,000	20,827,000	83,000	0.4	2,279,229	1,601,989	1,162,916	1,825,777	14,040,089	
水 道 事 業 会 計	2,163,894	2,100,198	63,696	3.0	57,241		221,600	195,384	1,256,655	収益的収支 106,540 資本的収支 △539,554
病 院 事 業 会 計	1,733,360	2,051,262	△317,902	△ 15.5	4,320	11,293	155,600	804,706	230,619	収益的収支 △185,641 資本的収支 △299,160
国民健康保険特別会計	6,229,784	6,021,030	208,754	3.5	1,018,148	232,803		4,090,459	888,374	
育英資金特別会計	10,902	10,003	899	9.0				10,900	2	
下水道特別会計	1,679,569	1,759,743	△80,174	△ 4.6	88,800	2,100	105,500	1,483,168	1	
介護保険特別会計 〔保険事業勘定〕 〔介護サービス事業勘定〕	6,002,789 33,191	5,717,357 32,568	285,432 623	5.0 1.9	1,416,928	863,494		3,722,365 33,191	2	
後期高齢者医療事業 特別会計	654,441	636,325	18,116	2.8				654,249	192	
漁業交流施設事業特別会計	77,519	83,582	△6,063	△ 7.3				77,519		
総 計	39,495,449	39,239,068	256,381	0.7	4,864,666	2,711,679	1,645,616	12,897,718	16,415,934	収益的収支 △79,101 資本的収支 △838,714
純 計 予 算	36,329,205	36,040,504	288,701	0.8	4,811,456	2,454,887	1,645,616	12,897,718	13,559,692	

平成28年度氷見市一般会計歳入予算案(案)

(単位：千円、%)

構成比 (前年度)	款別	本年度予算額	前年度予算額	比較	本年度 一般財源 充当額	年度 一般財源 額	備考
24.4 (24.5)	1 市 税	5,095,316	5,104,034	△8,718	5,095,316	5,095,316	市 民 税 2,192,027 市 たばこ 税 325,655 市 定 資 産 税 2,419,335 市 入 湯 税 30,525 (一般財源充当額の内訳)
1.0 (0.9)	2 地 方 譲 与 税	202,000	194,000	8,000	202,000	202,000	地方揮発油譲与税 58,000 自動車重量譲与税 144,000
0.0 (0.1)	3 利 子 割 交 付 金	10,000	15,000	△5,000	10,000	10,000	
0.3 (0.1)	4 配 当 割 交 付 金	54,000	28,000	26,000	54,000	54,000	
0.1 (0.1)	5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	31,000	12,000	19,000	31,000	31,000	
4.1 (3.5)	6 地 方 消 費 税 交 付 金	854,000	729,000	125,000	854,000	854,000	
0.0 (0.0)	7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	10,000	10,000	0	10,000	10,000	
0.1 (0.1)	8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	28,000	29,000	△1,000	28,000	28,000	
0.1 (0.1)	9 地 方 特 例 交 付 金	18,000	13,000	5,000	18,000	18,000	
32.4 (31.5)	10 地 方 交 付 税	6,777,000	6,559,000	218,000	6,777,000	6,777,000	普 通 交 付 税 5,827,000 特 別 交 付 税 950,000
0.0 (0.0)	11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,000	4,000	1,000	5,000	5,000	
0.9 (1.3)	12 分 担 金 及 び 負 担 金	184,110	272,640	△88,530	0	0	
1.1 (1.2)	13 使 用 料 及 び 手 数 料	235,518	240,208	△4,690	13,158	13,158	小規模企業団地 使 用 料 7,135 光ファイバー使 料 6,023
10.9 (12.4)	14 国 庫 支 出 金	2,279,229	2,583,970	△304,741			
7.7 (7.3)	15 県 支 出 金	1,603,489	1,514,786	88,703	1,500	1,500	市町村事務処理 交 付 金 1,500
0.1 (0.1)	16 財 産 収 入	15,852	18,198	△2,346	5,530	5,530	土 地 建 物 賃 付 収 入 5,528 物 品 売 払 収 入 1 不 動 産 売 払 収 入 1
0.5 (0.0)	17 寄 附 金	101,599	1,631	99,968	1	1	一 般 寄 附 金 1
2.9 (2.3)	18 繰 入 金	611,604	470,442	141,162	250,000	250,000	財 政 調 整 基 金 繰 入 金 250,000
0.0 (0.0)	19 繰 越 金	1	1	0	1	1	前 年 度 繰 越 金 1
4.6 (4.6)	20 諸 収 入	964,474	969,471	△4,997	18,691	18,691	富山県市町村振興協会交付金 8,000 歳計現金預金利子 1,500 延 滞 金 2,000 そ の 他 7,191
8.8 (9.9)	21 市 債	1,829,808	2,058,619	△228,811	666,892	666,892	臨 時 財 政 対 策 債 666,892
100.0 (100.0)	合 計	20,910,000	20,827,000	83,000	14,040,089	14,040,089	

平成28年度一般会計歳出予算(案)

(単位:千円)

構成比 ()は 前年度	款	平成28年度	平成27年度	比較	財源			経費			内容			
					国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	人件費	物件費 維持補修費	扶助費 補助費等	投資的経費	その他
1.0 (1.2)	1 社会費	218,520	240,255	△ 21,735	0	0	0	214	218,306	194,828	14,366	9,326	0	0
12.4 (10.1)	2 総務費	2,589,755	2,102,138	487,617	21,037	160,410	10,100	323,598	2,074,610	1,304,834	767,047	249,257	163,844	104,773
26.0 (24.9)	3 民生費	5,436,235	5,199,780	236,455	1,644,116	808,557	0	250,591	2,732,971	432,656	841,512	3,219,133	65,062	877,872
14.6 (14.2)	4 衛生費	3,063,214	2,958,225	104,989	119,969	276,730	136,100	130,735	2,399,680	118,911	624,476	1,209,671	268,090	842,066
0.3 (0.3)	5 労働費	57,901	64,827	△ 6,926	0	0	0	53,271	4,630	0	6,462	1,776	0	49,663
5.0 (5.2)	6 農林水産業費	1,044,820	1,078,053	△ 33,233	39,795	290,707	116,100	13,053	585,165	169,627	113,822	131,507	573,710	56,154
4.9 (5.5)	7 商工費	1,017,428	1,148,719	△ 131,291	0	26,337	0	725,631	265,460	95,842	72,433	125,636	4,517	719,000
12.7 (14.4)	8 土木費	2,657,860	3,003,706	△ 345,846	387,842	18,461	655,900	101,414	1,494,243	249,311	329,408	22,917	1,223,437	832,787
3.1 (2.9)	9 消防費	655,241	595,817	59,424	0	2,424	137,800	1,210	513,807	416,445	62,372	38,267	138,157	0
6.4 (6.8)	10 教育費	1,340,327	1,408,251	△ 67,924	14,296	8,289	5,500	35,607	1,276,635	413,678	679,308	158,222	88,630	489
0.5 (0.5)	11 災害復旧費	98,300	98,300	0	44,589	10,074	34,400	248	8,989	0	0	0	98,300	0
13.0 (13.9)	12 公債費	2,710,399	2,908,929	△ 198,530	7,585	0	67,016	190,205	2,445,593	0	0	0	0	2,710,399
0.1 (0.1)	13 予備費	20,000	20,000	0	0	0	0	0	20,000	0	0	0	0	20,000
	平成28年度予算額	20,910,000	20,827,000	83,000	2,279,229	1,601,989	1,162,916	1,825,777	14,040,089	3,396,132	3,511,206	5,165,712	2,623,747	6,213,203
	平成27年度予算額	20,827,000			2,583,970	1,513,286	1,333,658	1,742,114	13,653,972	3,424,056	3,347,468	4,949,578	2,925,073	6,180,825
比	比較	83,000			△ 304,741	88,703	△ 170,742	83,663	386,117	△ 27,924	163,738	216,134	△ 301,326	32,378
伸率 (%)	(%)	0.4			△ 11.8	5.9	△ 12.8	4.8	2.8	△ 0.8	4.9	4.4	△ 10.3	0.5
構成比	比	100.0			10.9	7.7	5.6	8.7	67.1	16.2	16.8	24.7	12.6	29.7
()は前年度 (%)	(%)	(100.0)			(12.4)	(7.3)	(6.4)	(8.4)	(65.5)	(16.4)	(16.1)	(23.8)	(14.0)	(29.7)

平成28年度氷見市水道事業会計予算(案)概要

事業の概要

項目	平成28年度	平成27年度	比較
給水戸数	14,400戸	14,400戸	増減なし
年間総給水量	4,748,000m ³	4,811,000m ³	△63,000m ³
1日平均給水量	13,008m ³	13,145m ³	△137m ³
有収率	82.0%	81.8%	0.2%

収益的收入及び支出

(単位：千円)

款項	平成28年度	平成27年度	比較	款項	平成28年度	平成27年度	比較
1 水道事業収益	1,343,989	1,363,640	△ 19,651	1 水道事業費用	1,237,449	1,305,932	△ 68,483
1 営業収益	1,206,365	1,222,565	△ 16,200	1 営業費用	1,115,915	1,114,537	1,378
2 営業外収益	137,622	138,448	△ 826	2 営業外費用	118,034	116,845	1,189
3 特別利益	2	2,627	△ 2,625	3 特別損失	3,000	74,050	△ 71,050
				4 予備費	500	500	

資本的收入及び支出

(単位：千円)

款項	平成28年度	平成27年度	比較	款項	平成28年度	平成27年度	比較
1 資本的收入	386,891	321,699	65,192	1 資本の支出	926,445	794,266	132,179
1 企業債	221,600	199,000	22,600	1 建設改良費	673,160	551,497	121,663
2 国庫補助金	57,241	93,000	△ 35,759	2 企業債償還金	248,537	240,917	7,620
3 工事負担金	48,809	22,731	26,078	3 国庫補助金返還金	4,748	1,852	2,896
4 出資金	7,704	6,968	736				
5 他会計貸付金返還金	50,000		50,000				
6 負担金	1,537		1,537				

平成28年度氷見市病院事業会計予算(案)概要

事業の概要

項 目	平成28年度	平成27年度
許可病床数	250床	250床
うち一般病床数	245床	245床
うち結核病床数	5床	5床

収益的収入及び支出

款 項	平成28年度	平成27年度	比 較		平成28年度	平成27年度	比 較	
			比	較				
1 病院事業収益	832,257	951,474	△119,217		1 病院事業費用	1,017,898	1,024,460	△6,562
1 1 医業収益	72,053	68,292	3,761		1 1 医業費用	933,142	939,741	△6,599
2 2 医業外収益	648,410	599,031	49,379		2 2 医業外費用	84,755	84,718	37
3 3 特別利益	111,794	284,151	△172,357		3 特別損失	1	1	

(単位 千円)

資本的収入及び支出

款 項	平成28年度	平成27年度	比 較		平成28年度	平成27年度	比 較	
			比	較				
1 資本的収入	416,302	410,947	5,355		1 資本的支出	715,462	1,026,802	△311,340
1 1 企業債	155,600	177,300	△21,700		1 建設改良費	160,000	180,000	△20,000
2 2 出資金	256,380	230,945	25,435		2 企業債償還金	498,162	745,362	△247,200
3 3 固定資産売却代金	1	1			3 他会計借入金返還金	50,000	91,340	△41,340
4 4 他会計繰入金	4,320	2,700	1,620		4 投資及び出資金	7,300	10,100	△2,800
5 5 投資回収金	1	1						

(単位 千円)

平成28年度氷見市国民健康保険特別会計予算(案)概要

歳入		歳出		比較		歳出		比較	
款	項	平成28年度	平成27年度	比較	款	項	平成28年度	平成27年度	比較
1	国民健康保険税	887,426	909,796	△ 22,370	1	総務費	97,582	102,978	△ 5,396
1	国民健康保険税	887,426	909,796	△ 22,370	1	総務管理費	85,124	90,268	△ 5,144
2	使用料及び手数料	190	190	0	2	徴税費	5,205	5,434	△ 229
1	手数料	190	190	0	3	運営協議会費	246	246	0
3	国庫支出金	1,018,148	958,648	59,500	4	医療費適正化特別対策事業費	7,007	7,030	△ 23
1	国庫負担金	833,636	799,894	33,742	2	保険給付費	4,040,259	3,858,742	181,517
2	国庫補助金	184,512	158,754	25,758	1	療養諸費	3,522,178	3,389,678	132,500
4	療養給付費交付金	312,947	394,501	△ 81,554	2	高額療養費	501,874	452,857	49,017
1	療養給付費交付金	312,947	394,501	△ 81,554	3	移送費	300	300	0
5	前期高齢者交付金	2,001,979	1,857,549	144,430	4	出産育児諸費	12,607	12,607	0
1	前期高齢者交付金	2,001,979	1,857,549	144,430	5	葬祭諸費	3,300	3,300	0
6	県支出金	232,803	208,858	23,945	3	後期高齢者支援金等	604,088	617,398	△ 13,310
1	県補助金	186,725	164,696	22,029	1	後期高齢者支援金等	604,088	617,398	△ 13,310
2	県負担金	46,078	44,162	1,916	4	前期高齢者納付金等	529	573	△ 44
7	共同事業交付金	1,218,281	1,161,780	56,501	1	前期高齢者納付金等	529	573	△ 44
1	共同事業交付金	1,218,281	1,161,780	56,501	5	老人保健拠出金	26	30	△ 4
8	財産収入	831	830	1	1	老人保健拠出金	26	30	△ 4
1	財産運用収入	831	830	1	6	介護納付金	195,123	209,307	△ 14,184
9	繰入金	550,404	522,104	28,300	1	介護納付金	195,123	209,307	△ 14,184
1	他会計繰入金	378,615	355,733	22,882	7	共同事業拠出金	1,218,281	1,161,780	56,501
2	基金繰入金	171,789	166,371	5,418	1	共同事業拠出金	1,218,281	1,161,780	56,501
10	繰越金	2	2	0	8	保健事業費	62,068	60,015	2,053
1	繰越金	2	2	0	1	特定健康診査等事業費	48,790	47,516	1,274
11	諸収入	6,773	6,772	1	2	保健事業費	13,278	12,499	779
1	延滞金及び過料	750	750	0	9	基金積立金	831	830	1
2	預金利子	1	1	0	1	基金積立金	831	830	1
3	雑入	6,022	6,021	1	10	諸支出金	9,997	8,377	1,620
歳入合計		6,229,784	6,021,030	208,754	1	償還金及び還付加算金	5,677	5,677	0
					2	繰入金	4,320	2,700	1,620
					11	予備費	1,000	1,000	0
					1	予備費	1,000	1,000	0
歳入合計		6,229,784	6,021,030	208,754	歳出合計		6,229,784	6,021,030	208,754

(単位:千円)

平成28年度氷見市育英資金特別会計予算(案)概要

(単位：千円)

歳出

歳入

款 項	平成28年度	平成27年度	比 較	主な増減理由	款 項	平成28年度	平成27年度	比 較	主な増減理由
1 財産収入	30	23	7	氷見市育英基金の残高増のため	1 教育費	10,362	9,463	899	貸付者の増加により貸付金が増加するため
1 財産運用収入	30	23	7		1 育英費	10,362	9,463	899	
2 繰入金	2,202	553	1,649	償還金の減少及び貸付金の増加のため	2 予備費	540	540		
1 基金繰入金	2,202	553	1,649		1 予備費	540	540		
3 繰越金	1	1							
1 繰越金	1	1							
4 諸収入	8,669	9,426	△ 757	償還人数の減少により償還金が減少するため					
1 預金利子	1	1							
2 貸付金収入	8,668	9,425	△ 757						
歳 入 合 計	10,902	10,003	899		歳 出 合 計	10,902	10,003	899	

平成28年度下水道特別会計予算(案)概要

(単位：千円)

歳出

歳入

款 項	平成28年度	平成27年度	比 較	款 項	平成28年度	平成27年度	比 較
1 分担金及び負担金	5,405	10,148	△ 4,743	1 下水道費	681,853	749,356	△ 67,503
1 分担金	2,807	7,451	△ 4,644	1 下水道管理費	423,964	404,441	19,523
2 負担金	2,598	2,697	△ 99	2 下水道建設費	253,239	340,195	△ 86,956
2 使用料及び手数料	629,576	651,779	△ 22,203	3 農村下水道建設費	4,650	4,720	△ 70
1 使用料	629,573	651,776	△ 22,203	2 公債費	997,716	1,010,387	△ 12,671
2 手数料	3	3		1 公債費	997,716	1,010,387	△ 12,671
3 国庫支出金	88,800	127,300	△ 38,500				
1 国庫補助金	88,800	127,300	△ 38,500				
4 県支出金	2,100	2,100					
1 県補助金	2,100	2,100					
5 繰入金	832,787	790,922	41,865				
1 他会計繰入金	832,787	790,922	41,865				
6 繰越金	1	1					
1 繰越金	1	1					
7 諸収入	15,400	19,093	△ 3,693				
1 延滞金、加算及び過料	1	1					
2 雑入	15,399	19,092	△ 3,693				
8 市債	105,500	158,400	△ 52,900				
1 市債	105,500	158,400	△ 52,900				
歳 入 合 計	1,679,569	1,759,743	△ 80,174	歳 出 合 計	1,679,569	1,759,743	△ 80,174

平成28年度氷見市介護保険特別会計予算(案)概要

保険事業勘定

歳入		歳出		比較		項目		比較		(単位:千円)	
款	項	平成28年度	平成27年度	比較	款	項	平成28年度	平成27年度	比較		
1	保険料	1,143,646	1,162,479	△ 18,833	1 総務費		121,307	126,636	△ 5,329		
	1 介護保険料	1,143,646	1,162,479	△ 18,833	1 総務管理費		64,547	72,002	△ 7,455		
	2 使用料及び手数料	100	100		2 徴収費		1,962	1,974	△ 12		
	1 手数料	100	100		3 要介護認定費		54,798	52,660	2,138		
3	国庫支出金	1,416,928	1,341,874	75,054	4 計画策定委員会費						
	1 国庫負担金	1,011,357	968,410	42,947	2 保険給付費		5,663,227	5,434,758	228,469		
	2 国庫補助金	405,571	373,464	32,107	1 介護サービス等諸費		5,663,227	5,434,758	228,469		
4	支払基金交付金	1,616,400	1,541,242	75,158	3 地域支援事業費		215,428	153,575	61,853		
	1 支払基金交付金	1,616,400	1,541,242	75,158	1 介護予防事業費		40,465	69,694	△ 29,229		
5	県支出金	863,494	822,934	40,560	2 介護予防・日常生活支援総合事業費		69,215		69,215		
	1 県負担金	829,191	797,886	31,305	3 包括的支援事業費		105,748	83,881	21,867		
	2 県補助金	34,303	25,048	9,255	4 基金積立金		424	184	240		
6	財産収入	424	184	240	1 基金積立金		424	184	240		
	1 財産運用収入	424	184	240	5 諸支出金		1,403	1,204	199		
7	繰入金	961,587	848,370	113,217	1 諸支出金		1,403	1,204	199		
	1 一般会計繰入金	871,161	831,855	39,306	6 予備費		1,000	1,000			
	2 基金繰入金	90,426	16,515	73,911	1 予備費		1,000	1,000			
8	繰越金	1	1								
	1 繰越金	1	1								
9	諸収入	209	173	36							
	1 延滞金、加算金及び過料	2	2								
	2 雑入	207	171	36							
歳入	合計	6,002,789	5,717,357	285,432	歳出	合計	6,002,789	5,717,357	285,432		

平成28年度氷見市介護保険特別会計予算(案)概要

介護サービス事業勘定

歳 入		歳 出				(単位：千円)	
款 項	平成28年度	平成27年度	比 較	款 項	平成28年度	平成27年度	比 較
1 サービス収入	26,418	24,138	2,280	1 事業費	33,191	32,568	623
1 予防給付費収入	26,418	24,138	2,280	1 介護予防サービス費	33,191	32,568	623
2 繰入金	6,697	8,375	△ 1,678				
1 一般会計繰入金	6,697	8,375	△ 1,678				
3 諸収入	76	55	21				
1 雑入	76	55	21				
歳 入 合 計	33,191	32,568	623	歳 出 合 計	33,191	32,568	623

平成28年度氷見市後期高齢者医療事業特別会計予算(案)概要

(単位:千円)

歳入		歳出				比較			
款	項	平成28年度	平成27年度	比較	款	項	平成28年度	平成27年度	比較
1	後期高齢者医療保険料	420,112	408,804	11,308	1	総務費	53,277	50,317	2,960
1	後期高齢者医療保険料	420,112	408,804	11,308	1	総務管理費	50,811	47,895	2,916
2	使用料及び手数料	190	190	0	2	徴収費	2,466	2,422	44
1	手数料	190	190	0	2	後期高齢者医療広域連合納付金	600,114	584,958	15,156
3	繰入金	199,367	192,601	6,766	1	後期高齢者医療広域連合納付金	600,114	584,958	15,156
1	一般会計繰入金	199,367	192,601	6,766	3	諸支出金	1,050	1,050	0
4	繰越金	1	1	0	1	償還金及び還付加算金	1,050	1,050	0
1	繰越金	1	1	0					
5	諸収入	34,771	34,729	42					
1	延滞金、加算金及び過料	400	400	0					
2	償還金及び還付加算金	1,050	1,050	0					
3	預金利子	1	1	0					
4	雑入	33,320	33,278	42					
	歳入合計	654,441	636,325	18,116		歳出合計	654,441	636,325	18,116

平成28年度 漁業交流施設事業特別会計予算(案) 概要

(単位：千円)

歳 出

歳 入

款 項 目	平成28年度	平成27年度	比 較	款 項 目	平成28年度	平成27年度	比 較
1 使用料及び手数料	9,150	14,420	△ 5,270	1 総務費	27,942	26,582	1,360
1 使用料	9,150	14,420	△ 5,270	1 総務管理費	27,942	26,582	1,360
1 漁業交流施設使用料	9,150	14,420	△ 5,270	1 一般管理費	27,942	26,582	1,360
2 繰入金	56,152	43,708	12,444	2 漁業交流施設費	49,577	57,000	△ 7,423
1 一般会計繰入金	56,152	43,708	12,444	1 漁業交流施設管理費	49,577	57,000	△ 7,423
1 一般会計繰入金	56,152	43,708	12,444	1 漁業交流施設管理費	49,577	57,000	△ 7,423
3 諸収入	12,217	25,454	△ 13,237				
1 雑入	12,217	25,454	△ 13,237				
1 雑入	12,217	25,454	△ 13,237				
歳 入 合 計	77,519	83,582	△ 6,063	歳 出 合 計	77,519	83,582	△ 6,063

平成28年度人件費予算総括説明書

(単位:千円)

区分	一般会計			水道事業会計	病院事業会計	国民健康保険特別会計	育英資金特別会計	下水道特別会計	介護特別会計	保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	漁業交流施設事業特別会計	合計
	一般分	事業費支弁分	合計										
職員数 (人)		[1,162] [368]	1,601	[5]	5		[2]	[7]	[32]	32			[1,213]
1 報酬	129,650		129,650	60	60		180		7,104	7,104			137,004
2 給料	1,462,109 (2,062)	21,928	1,484,037 (2,052)	34,362	34,362	9,340	29,864	27,677	38,412	38,412	3,486	12,576	1,639,754 (2,052)
3 職員手当等	815,838 (499)	9,749	825,587 (449)	17,548	17,548	4,938	14,308	12,998	19,213	19,213	2,252	7,351	904,195 (449)
4 共済費 (共済組合負担金) (社会保険料)	511,435 (465)	5,739	517,174 (459)	11,207	11,207	3,096	9,541	9,042	12,600	12,600	1,111	4,227	567,998 (459)
5 負担金、補助及び交付金 (退職手当事務負担金)	477,100		477,100	10,313	10,313	2,810	8,958	8,304	11,523	11,523	1,046	3,788	523,842
合計	3,396,132 (3,026)	37,416	3,433,548 (3,026)	73,490	73,490	20,184	62,851	58,021	88,852	88,852	7,895	27,942	3,772,793 (3,026)
前年度	3,424,056 (2,960)	38,178	3,462,234 (2,960)	73,609	73,609	19,909	65,947	61,460	90,976	90,976	5,761	26,582	3,806,498 (2,960)
比較	△ 27,924 (66)	△ 762	△ 28,686 (66)	△ 119	△ 119	275	△ 3,096	△ 3,439	△ 2,124	△ 2,124	2,134	1,360	△ 33,705 (66)
対前年度伸び率(%)	△ 0.82 (2.23)	△ 2.00	△ 0.83 (2.23)	△ 0.16	△ 0.16	1.38	△ 4.69	△ 5.60	△ 2.33	△ 2.33	37.04	5.12	△ 0.89 (2.23)

※職員数欄の[]は、前年度の予算定数
 ※職員数欄の()は、再任用短時間勤務職員数の外書
 ※給料、職員手当、共済費及び合計欄の()は、再任用短時間勤務職員の給与で、内数

平成28年度予算（案）主な事業の概要

☆：新規事業、◇：拡充事業、・：継続事業

単位：千円

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
I	氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす 19件 228,354千円			
	(1) 氷見市の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かしたビジネス化の実施			
☆	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費	5,109	氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地方創生の実現に向けた取り組みを実施していくため、おらっちゃん創生等を推進するとともに、推進協議会を開催する。	地方創生課
☆	地方創生企業人材招聘プログラム事業費	6,614	三大都市圏に勤務する大企業の社員のノウハウや知見を活かし、本市の魅力や価値の向上につなげ、活性化を効果的効率的に推進する。	地方創生課
☆	地方創生アドバイザー設置事業費	6,000	まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に実施するため、助言等を行うアドバイザーを設置するとともに、講演会を開催する。	地方創生課
◇	地域おこし協力隊事業費	60,899	都市住民から「地域おこし協力隊」隊員を募集し、地域づくり協議会等による地域課題解決に向けた取り組みを協働で進めるとともに、地域への定住と起業を支援する。	地方創生課
☆	創業支援事業費	9,112	新規創業しやすい環境をつくるため、理念の熟成や企画力を高める研修など行い意欲のある起業者を支援する。また、創業した起業者同志の交流や事業への支援者を広げる場を提供する。さらに、これから創業しようとする意欲のある起業者に創業時の資金軽減を図るための支援を行う。	商工観光課
◇	食イベントによる氷見の魅力発信事業費	8,000	氷見の旬の食材や食文化及び温泉を全国へ発信するイベントを開催する。	商工観光課
・	浅野総一郎翁ゆかりの都市等交流推進事業費	3,024	浅野総一郎翁ゆかりの都市や企業、姉妹都市等との交流や連携の拡大を促進する。	商工観光課
☆	地球環境防衛隊構想実現事業費	9,572	海浜植物園を「地球環境防衛隊訓練基地」と位置づけ、幅広い市民等の参画による環境保全活動等を展開・発信する地球環境防衛隊の結成に向けた事業を推進する。	海浜植物園・花みどり推進室
◇	木育推進事業費	8,142	誕生から園児までの子ども達が育つ環境に木のおもちゃを取り入れ、感性豊かな心の発達や創造性豊かな子どもの育成により、木育の推進を図る。	農林畜産課
◇	農産品ブランド支援事業費	1,120	関係機関と協力し、有機物資源の地域内循環と環境に配慮して生産された農産物を認証する。また、農業者に対して、園芸品目を生産・拡大するためのビニールハウス施設及び設備の導入を支援する。	農林畜産課
◇	氷見牛ブランド支援事業費	13,365	畜産農家の子牛の購入及び生産に対し助成する。また、氷見牛ブランド促進協議会と連携し、ブランド力の向上を図る。	農林畜産課
☆	氷見農業大学・市民農園チャレンジ事業費	2,887	農業の観点から本市の活性化を図るために、アドバイザー等を招へいし、(仮)「氷見農業大学」を開催する。	農林畜産課
◇	とやまの園芸規模拡大チャレンジ事業費	6,969	園芸作物を生産する経営体の機械・施設整備に対し補助する。	農林畜産課
☆	畜産競争力強化整備事業費	23,062	畜産クラスター計画に定められた中心的な経営体に対し、収益性の向上や畜産環境問題への対応に必要な施設整備等を支援する。	農林畜産課
◇	環境保全型農業直接支払事業費	5,433	有機農業や農薬の低減等の環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う。	農林畜産課
	(2) 氷見市内での資金循環の維持・加速			
◇	ふるさと納税推進事業費	45,622	寄附者への返礼の拡充や還元率のアップ、PRの強化により、ふるさと納税の促進を図る。	地方創生課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
☆	商店街賑わい創出事業費	4,363	北の橋周辺商店街で飲み食べ歩き”バル”、歩行者天国イベント等を開催し賑わいを創出し、北の橋の架け替え工事により売り上げへの影響対策に取り組む。	地方創生課
☆	企業誘致強化事業費	6,561	新たな雇用を創出するため企業誘致の方針を整え、積極的に企業訪問を行い、本市への企業誘致に繋げる。また、工場適地調査を行う。	商工観光課
(3) 子育てと両立する創業・雇用の創出				
☆	ワークライフバランス推進事業費	2,500	ワークライフバランスを推進するため、啓発ツールを作成し、氷見での働き方や豊かな暮らし方の提案や実例紹介する。また、優良企業の紹介など周知イベント等を行う。	商工観光課
II 「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する				
25件 220,045千円				
(1) 様々な世代の氷見出身者の還流（ふるさと氷見での人材の定着）				
◇	ふるさと定住促進事業費	72,849	まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる150人の社会増を実現するため子育て世帯、新婚世帯、20代UIターン者、市外在住で市内事業所に就業する方、医療介護人材等ターゲットを明確にして、住宅支援制度を拡充し、移住定住を促進する。	地方創生課
☆	3世代同居・近居奨励事業費	5,000	子育て環境の充実やワークライフバランスを推進するため、3世代での同居・近居の住宅取得又はリフォームに係る費用を支援し、地域コミュニティの維持や移住・定住を促進する。	地方創生課
・	「ふるさと学び」応援事業費	120	地域固有の歴史、文化、自然などをテーマとし、地区公民館と連携して「ふるさと学び」の学習会を開催する。	教育総務課
・	「中学生ふるさと発見塾」開催事業費	206	中学1年生が市内の史跡等を見学し、郷土理解や郷土愛を深める。	教育総務課
・	教育資料等作成事業費	816	ふるさと学習資料の有効活用を図るため、教育資料のデジタルコンテンツを整理し映像教材資料として各学校へ配布する。	教育総合センター
(2) 「里海での生活と里山での生活が同時になうまち氷見」への移住・定住の実現				
☆	空き家活用まちづくり事業費	1,331	古民家等の活用を促進するため、新しい地域ルール(条例と運用体制)を整備し、市内の空き家を活用した定住や観光交流につながるまちづくりを推進する。	地方創生課
☆	フレンドリー定住モデルコース事業費	4,091	移住希望者の要望に応じて氷見市体験コースを作成・実施し、定住者の増加につなげる。	地方創生課
☆	空き家「優良物件化」支援事業費	5,000	空き家の有効活用を促進するため、課題となっている「空き家の不用品整理」や「改修」などの経費に対して支援し、空き家利活用の誘発を図る。	地方創生課
☆	定住者受入モデル地域支援事業費	553	「定住者受入モデル地区」である速川地区の「定住・半定住受入促進計画」に基づき実施する定住事業を支援する。	地方創生課
(3) 氷見ならではの魅力・強みを生かした交流の実現				
☆	市民文化プログラム推進事業費	10,832	これまでの文化芸術の分野の枠を超えて福祉分野や教育分野などにその領域を拡げて、地域活性化に資するための”氷見創生「ソーシャル+アーツ」事業を実施する。また、子どもたちに芸術に触れる機会を提供するほか、文化芸術行事やコミュニティアートプロジェクト、伝統芸能や伝統技術で活躍する文化芸術関連の「人」にフォーカスした文化芸術情報誌を発行する。	芸術文化マネジメント室

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
◇	スポーツによるまちづくり推進事業費	4,597	スポーツ推進計画策定のためのモデル事業の実施及び東京オリンピック・パラリンピック対応やスポーツ合宿の誘致を図る。	スポーツ文化マネジメント室
☆	世界少年野球大会交流事業費	2,800	県西部6市を会場として開催される第26回世界少年野球大会へ助成するとともに、その参加者との交流会を開催する。	スポーツ文化マネジメント室
◇	春の全国中学生ハンドボール選手権大会開催事業費補助金	14,500	「第12回春の全国中学生ハンドボール選手権大会」の開催に助成する。	スポーツ文化マネジメント室
・	氷見キトキトウオーキング開催事業費補助金	600	心と体の健康づくりとともに、全国のウォーカーとの交流を図る「第13回氷見キトキトウオーキング」に助成する。	スポーツ文化マネジメント室
☆	氷見市スポーツ推進計画策定事業費	3,580	平成28年度中に氷見市スポーツ推進計画を策定する。	スポーツ文化マネジメント室
☆	学校法人日本体育大学連携事業費	1,324	学校法人日本体育大学との「体育・スポーツの振興に関する協定」に基づき、双方の資源を活用した連携事業に取り組む。	スポーツ文化マネジメント室
◇	まंगाのまちづくり推進事業費	26,360	昨年スタートした「氷見市 藤子不二雄®まंगाワールド」を充実させ、まंगाのまちとしてのグレードアップを進めていく。	商工観光課
◇	氷見市観光協会補助金	13,300	観光協会の事業及び運営費について助成する。	商工観光課
・	観光戦略事業費	23,499	首都圏や新幹線沿線での観光宣伝や有名旅行雑誌によるPR、観光地としての受入体制の充実、さらに広域的な観光施策の取り組みにより北陸新幹線等を利用した旅行者や外国人観光客の来訪者数の増加及び満足度の向上を図る。	商工観光課
・	コンベンション・修学旅行等誘致推進事業費	2,000	市内で宿泊するコンベンション及び修学旅行に対し助成する。	商工観光課
☆	観光広報強化事業費	15,266	テレビ番組や雑誌記事などマスメディアでの露出増加を目的とした首都圏テレビ局、番組制作会社、出版社への働きかけを強化する等、観光協会とともに広報力強化に向けた取組を実施する。	商工観光課
☆	観光施設整備事業費	324	キャンピングカーが快適に利用できるRVパークの整備について調査を行う。	商工観光課
☆	漁業関連文化財等保存活用事業費	2,911	市内に現存する漁師の番屋や船小屋、網元の家など、かつての漁村文化を今に伝える建造物について調査を実施し、氷見らしい建造物の保護と活用を行う。あわせて、国登録有形民俗文化財「氷見及び周辺地域の漁撈用具」について、資料を整備しその価値と魅力をブラッシュアップすることで、さらなる保存と活用に供する。	教育総務課
・	天然記念物イタセンパラ再生事業費	6,986	イタセンパラの保護増殖のため、保護池でのモニタリング調査や万尾川での生息環境調査を行う。また、保護池の密漁対策に取り組む。	教育総務課
☆	「氷見の万葉」魅力再発見事業費	1,200	大伴家持が最も愛したとされる布勢大海など、「氷見の万葉」について、今一度市民とともに学びなおし、郷土を愛する心の育成につなげる。	教育総務課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
Ⅲ	氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす 40件 565,492千円			
	(1) 若者が早期に結婚し、子どもを中心として家族が幸せを実感できる生活の実現			
☆	縁結び推進事業費	7,345	婚姻率の向上に向けて、全国の先進的な取り組みなどを参考に効果的な方策を研究し、その導入を検討するとともに、男女の出会いの場のプロデューサーや縁結びおせっかいさんの活動支援、同窓会開催に対する助成など、未婚者の結婚の希望がかなえられるよう取り組む。	地方創生課
◇	未来をつくるライフプラン事業費	712	市内の中学生及び高校生に将来の結婚や家庭生活などのライフイベントをシートに描いてもらい、親となるための自覚と子育てへの理解を深める。	子育て支援課
☆	記念フォトサービス事業費	151	結婚するお二人や赤ちゃんの誕生をお祝いし、婚姻届または出生届を提出された方に、海越しの立山連峰をモチーフにしたバックボードで記念撮影した写真とお祝いメッセージカードをプレゼントする。	市民課
	(2) 妊娠・出産に関わる負担の軽減			
◇	子ども・妊産婦医療費助成事業費	150,253	中学3年生までの子どもの入院・通院医療費と妊産婦医療費に対し助成する。平成28年10月から所得制限を廃止する。	子育て支援課
・	子育て支援サービス普及促進事業費	4,283	子どもが生まれた家庭に「とやまっ子子育て応援券」を配布し、子育てサービスの利用促進を図る。	子育て支援課
☆	子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）調査事業費	244	妊娠・出産・子育て期を通じて、地域の関係機関が連携して切れ目のない支援をするフィンランドのネウボラを参考にした「子育て世代包括支援センター」開設に向けて、調査研究を行う。	健康課
・	産科医確保支援事業費	3,000	減少する産科医確保のため、市内の産科医に対して分娩費用の一部を補助する。	健康課
◇	不妊治療費助成事業費	27,100	不妊治療を受けている夫婦の負担軽減のため助成する。平成28年度から助成限度額を50万円に増額するとともに、新たに不育症及び男性不妊症に関する治療等に要した費用の一部を助成する。	健康課
	(3) 仕事と家庭の両立をしながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現			
◇	男女共同参画プラン推進事業費	3,909	男女共同参画プランの推進の一環として、働きやすい環境づくりを促進するためワークライフバランスのフォーラム開催や、女性の市政への参画を推進するため女性議会を開催する。	秘書・市民情報課
◇	生活困窮者自立支援事業費	19,593	生活困窮者に対して子どもの学習の相談・情報提供、就労相談や住宅支援給付金を支給し自立支援を実施する。	福祉介護課
・	地域子育てセンター推進事業費	61,999	子育て親子の交流の場の提供及び子育て等に関する相談・援助を実施する。	子育て支援課
☆	地域子育てセンター改修事業費	2,917	子育てセンター入り口乳幼児用トイレを増設する。	子育て支援課
◇	保育料負担軽減	—	収入が一定額未満の家庭の第2子目の児童やひとり親世帯等の児童の保育料を無料とする。	子育て支援課
☆	地域型保育給付事業費	15,409	主として従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする3歳未満の子どもへの保育を提供するもの。	子育て支援課
・	ハートフル保育推進事業費	225	保育所・認定こども園に入所している児童の保護者や地域支援者を対象に、発達障害についての理解を深め療育支援の意識の向上を図ることを目的として、臨床心理士など専門家による講演会を市内の保育所・認定こども園15カ所で開催する。	子育て支援課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
・	延長保育促進事業費	50,393	延長保育を実施している私立保育所(8園)・認定こども園(2園)へ助成する。	子育て支援課
☆	幼保小接続支援事業費	242	就学前教育と小学校教育との円滑な接続支援体制を構築するため、学校教育課・教育総合センター・子育て支援課が合同で取り組む。	子育て支援課
☆	公立保育所整備計画調査事業費	3,296	30人に満たない小規模な保育所が増える傾向にあることから、今後に向けた小規模保育の存続基準の明確化と中核となる保育所に求められる機能等の調査・検討を行う。	子育て支援課
・	パパの育児参加促進事業費	1,056	地域の子育て支援の拠点において父親向けの育児講座を開催し、父親の育児参加を促進する。	子育て支援課
☆	きときとキッズ農業体験事業費	2,997	地域の中で児童を見守り育てる機運を高めるため、保育所等が拠点となり高齢者等との交流を図る。子どもたちは年間を通して農業体験することにより生命の不思議さや尊さを学ぶ。	子育て支援課
☆	キッズサッカー教室開催事業費	232	子どもの体力向上や健全育成をめざし、希望する市内保育所・認定こども園で専門家によるサッカー教室を開催する。	子育て支援課
◇	放課後児童対策事業費	104,379	公民館や学校の空き教室などを利用し、地域の運営で学童保育を実施する。新たに1箇所を設置する。(20箇所)	子育て支援課
☆	孫とおでかけ支援事業費	1,500	連携市内に居住する祖父母が孫(ひ孫)と一緒に対象施設に来館した場合に入館料等を無料とする。	子育て支援課
・	歯っぴいむし歯予防事業費	1,498	幼児健診等でのフッ素塗布や保育園等でのフッ素洗口、むし歯予防教育・相談を行う。	健康課
☆	小・中学校ICT活用教育推進事業費	2,539	モデル校においてタブレットPCを活用した授業を実施し、その効果を検証する。また、ICTを活用した教育の推進を図るため、実践事例等について調査・研究する。	教育総務課
☆	学校給食センター整備検討事業費	748	老朽化した学校給食センターの整備検討委員会を設置し、新しい施設が備える機能等について検討する。	教育総務課
☆	統合校整備推進事業費	29,376	平成29年4月の灘浦中学校と北部中学校の円滑な統合に向け、スクールバスの購入や車庫の整備並びに学校行事、部活動における交流事業を実施する。	教育総務課
・	放課後子どもプラン推進事業費	4,318	小学校や公民館を活用して、放課後に各種の教室を開催し、子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。	教育総務課
・	氷見親学び学習推進事業費	361	未就学児や就学児の親及び祖父母を対象に、「親を学び伝える学習プログラム」を活用した学習会を開催し、親学びや家庭教育について考えてもらう機会を設ける。	教育総務課
☆	学校用ネットワーク整備事業費	15,234	学校用ネットワークを整備し、ICT機器やインターネットを用いた学習を推進する。	教育総務課
☆	「中学生未来応援塾」推進事業費	1,462	教員OBや教員を目指す大学生など、地域人材を市内の各中学校に派遣し、学習習慣の定着を目的とした学習支援を行う。	教育総務課
◇	図書館資料購入費	11,667	市民の学習等に必要資料や情報を提供するため、図書の実質を図る。特に、起業の仕方やまちづくりに関する図書を増冊する。	図書館
・	小・中学校特別支援教育就学奨励事業費	2,989	心身に障害があり、特別支援学級等で教育を行う児童・生徒へ就学援助する。	学校教育課
・	要・準要保護等児童・生徒扶助費	15,219	就学奨励制度に基づく要保護者(生活保護世帯)、準要保護(要保護に準ずる程度の困窮者)へ就学補助する。	学校教育課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
・	小・中学校学習サポーター派遣事業費	7,614	小学校に学習サポーターを配置し、ティーム・ティーチング指導や複式学級における指導を行う。また、中学校に学習サポーターを配置し、習熟度に応じた個別指導や教室外登校の生徒に対する学校生活の支援等を行う。	学校教育課
・	社会に学ぶ「14歳の挑戦」推進事業費	1,560	中学2年生が職場体験活動等に参加することにより、成長期の課題を乗り越える力を身につけさせる。	学校教育課
・	学校ICT支援員派遣事業費	2,520	小中学校における授業の補助や学校ホームページの更新等を行う。	学校教育課
☆	「氷見の教師未来塾」推進事業費	1,166	子どもたちが夢と希望をもって健やかに成長し、将来を力強く生き抜くための力を育む教育を推進するため、教師の研修を実施する。	学校教育課
・	氷見の教育基本方針推進事業費	1,886	「めざそう！かがやきつづける人を」をテーマに、各学校毎において特色ある活動を計画し、実施する。	学校教育課
・	氷見の学力向上フロンティア事業費	450	「とやま型学力向上プログラム」を活かした実践的な取組により学力の底上げを図る。(小学校4校で実施)	教育総合センター
・	小中連携教育推進事業費	3,650	併設校である朝日丘小学校と南部中学校が、小中連携教育の在り方や指導方法について調査・研究し、両校が円滑で特色ある教育を推進できるよう支援する。	教育総合センター

**IV 暮らし続けられるまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する
41件 1,372,222千円**

(1) 地域に住み続けるための健康的自立（健康寿命の延伸）

☆	全国健康福祉祭（ねんりんピック）開催事業費	308	平成30年に第31回全国健康福祉祭富山大会（仮称）が開催され、氷見市も一部の種目の会場となるため、準備調査のための先進地視察を行う。	福祉介護課
・	シルバー人材センター運営費補助金	8,385	氷見市シルバー人材センターの運営費を補助する。	福祉介護課
☆	第2次氷見市ヘルスプラン21中間評価事業費	1,535	平成24年度に策定した第2次氷見市ヘルスプラン21について、目標に対してどの程度達成されているか中間評価を行い最終年度に向けての取組みを示す。	健康課
◇	健康診査事業費	86,977	健康増進法等に基づく健康診査・がん検診・骨粗鬆症検診・歯周疾患検診・肝炎ウイルス検診・結核検診を実施し、疾病の早期発見を図る。さらに子育て世代へ託児付きの検診の実施や20歳～39歳の乳がん検診個人負担金を助成するほか、がん対策市民シンポジウムを開催する。また、市医師会の肺・胃がん検診読影システム導入に対し助成を行う。	健康課
・	健康教育・相談事業費	1,525	心身の健康に関する相談・保健指導・教育を行い、健康の保持増進を図る。また、健康づくりボランティアの活動に対し支援する。	健康課
☆	未病対策事業費	4,180	病気ではないが健康でもない「未病」状態から「健康」に近づけるという考え方を啓発し、青壮年からの健康づくりの意識の向上に取り組み、健康寿命の延伸を図る。	健康課
・	「心のケア」推進事業費	4,558	小中学校の抱える問題（いじめ、不登校等）に対応するため、適応指導教室の運営、SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置等教育相談体制の構築を図る。	教育総合センター

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
(2)	おらっっちゃ創生（各地域・各団体等による各々の地方創生の推進）による、自分ごと・みんなごと・世の中ごとの好循環の確立			
◇	まちづくりセミナー開催事業費	3,949	全国でまちづくりについて取り組む活動家の先進的な事例を総合戦略に関連付けて学ぶ「氷見市まちづくりセミナー」を開催し、まちづくりに対する見識を深めるとともに、住民自らがまちづくりを推進する機運の醸成を図る。	地方創生課
☆	おらっっちゃ創生支援事業費	15,478	地方創生の実現に向けて、豊かで住み良い個性あるふるさとづくりを推進するため、自治会等が実施するコミュニティ活動及びコミュニティ施設整備に要する経費に対し助成する。＜従来のクリエイティブタウン事業の拡充＞	地方創生課
(3)	暮らし続けられる地域社会を実現する都市空間設計			
◇	協働のまちづくり推進事業費	8,702	地域づくり協議会の支援を行い、住民自治を支える基盤として市民会議室の検討や市民要望システム運用を行う。	地方創生課
・	氷見市まちづくりバンク事業費	3,272	中心市街地の空き店舗を活用して、その魅力度を高めるためのまちづくりの研究や活動及び牽引する人材を育成する。	地方創生課
☆	公民連携による新文化施設計画推進事業費	4,756	新文化施設について考える市民会議を開催し、市民のコンセンサスを得ながら新文化施設の立地や機能、規模、複合化について検討し、公民連携による新文化施設計画を策定する。	芸術文化マネジメント室
◇	防災対策事業費	54,385	情報伝達手段の多重化を図るため、防災ラジオの整備に着手する。また、防災マップづくり等による自主防災活動の活性化、避難行動要支援者名簿の整備、庁内の防災体制の整備を進める。	地域防災室
・	グランドデザイン調査検討事業費	11,394	グランドデザイン調査検討委員会を設置し、中長期的な視点から戦略的なまちづくりについて調査検討を行う。また、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関するマスタープランとして立地適正化計画を策定する。	都市計画課
・	景観づくり事業費	2,903	景観基本計画に基づいて景観計画の策定及び景観条例を制定する。	都市計画課
・	朝日山公園整備事業費	40,214	朝日山公園の休憩施設の新築工事及び桜の再生事業を進める。	都市計画課
☆	北の橋環境整備事業費	3,447	北の橋整備促進協議会の運営及び県へ要望するデザインの実施設計を行う。	都市計画課
☆	都市計画基本図・国土基本図作成事業費	54,001	市内全域における航空写真の撮影を機に、そのデジタル写真データを図化し、世界測地系座標によるデジタル化（電子データ）された1/2500の都市計画基本図、1/5000国土基本図を作成する。	都市計画課 建設課
◇	NPOバス運営推進事業費	12,191	コミュニティバスを運行するNPO法人（八代・基石・灘浦地域）を支援するほか、新たなNPOバス導入に向けた検討を進める。	商工観光課
・	公共施設マネジメント計画策定事業費	984	公共施設・インフラに関するマネジメント計画を策定する。	総務課
・	安心生活創造事業費	7,328	ひとり暮らし世帯や高齢者世帯に生活支援サービス（買い物支援、外出支援等）を行う。	福祉介護課
☆	地域セーフティネット活性化事業費	9,050	社会的孤立や制度の狭間に陥っている人々を総合的に支援するため、課題解決に必要な知識や技術を習得するなど、地域のセーフティネットの体制を検討・協議する。	福祉介護課
☆	地域共生ターミナル活動推進事業費	321	既存の公共施設等を活用し、障害のある人、高齢者、生活に困窮している人やひきこもっている人も地域の一員として活躍し、安心して生活できる社会づくりに向けた取り組みの拠点として整備するとともに、ボランティアや地域住民等によるこれらの活動を支援する。	福祉介護課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
	在宅医療多職種連携体制促進事業費	1,500	在宅患者が医療・介護サービスを一体的に受けることができるよう、医師・薬剤師等多職種が連携するための情報共有システム(多職種情報共有システム)を運用する。	福祉介護課
◇	地域密着型介護基盤整備事業費補助金	105,869	第6期介護保険事業計画に基づく介護施設等の整備に助成する。	福祉介護課
	クリーンセンター改修事業費	221,505	主要設備の老朽化が著しいことから、循環型社会形成推進交付金を活用し、今後の施設規模の適正化と維持管理コストの軽減を図りながら、汚泥再生処理センターとして改修する。	環境・交通防犯課
	氷見伏木線整備事業費	151,220	国道415号のバイパス路線としての機能を有する基幹道路を整備する。	建設課
	市道鞍川霊峰線バイパス整備事業費	146,000	災害時に防災拠点となるふれあいスポーツセンターへのアクセス道路を整備する。	建設課
	市道稲積一勿線道路改良事業費	205,000	阿尾・八代地区から氷見北インターへのアクセス道路を整備する。	建設課
◇	地籍調査事業費	45,712	大浦Ⅱ、上余川Ⅲ、上余川Ⅰ・Ⅱの地籍調査を行う。	農林畜産課
	鳥獣被害防止対策事業費	34,055	地域ぐるみでのイノシシ被害防止対策の体制を強化するとともに、集落が行う電気柵設置に助成する。また、集落ぐるみによる防除を推進する。	いのしし等鳥獣害対策室
◇	廃校施設利活用事業費	22,384	学校統合により廃校となった施設の維持管理を行う。また、旧八代中学校体育館等解体工事、旧上余川小学校体育館屋根改修工事及び旧余川小学校プール解体工事を行う。	教育総務課
☆	地区防災センター整備事業費	26,110	敷地が狭隘で老朽化が著しい窪地区防災センターを整備する。	消防本部
(4) 未来共創型の自治体経営モデルの構築				
◇	市長のまちづくりふれあいトーク開催事業費	1,814	地区や女性、希望団体とのまちづくりふれあいトークを開催する。また、その質疑応答を見やすくするためのシステムを導入する。	秘書・市民情報課
◇	広報広聴戦略推進事業費	3,905	氷見市の目指す広報広聴戦略策定のため、有識者・専門家からなる委員会を設置する。また、職員の広報・公聴スキルアップのため講演会や研修会を実施する。	秘書・市民情報課
☆	ICT利活用推進事業費	10,368	動画を活用した情報発信やインターネットを利用したコミュニケーション基盤を導入する。	秘書・市民情報課
☆	総合計画後期基本計画策定調査事業費	11,274	第8次総合計画後期基本計画の策定に必要な事前の市民意向等調査・分析を行うとともに、アドバイザーの助言を受けながら分野別計画との連動等に取り組む。	地方創生課
☆	地方創生ラボによる実践プログラム開発事業費	8,067	地方創生に向けて、氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略を大学と連携して実践し、しごとづくりや人の流れをつくるなど、地域の課題解決や地域おこし活動に取り組む。	地方創生課
◇	行政経営推進事業費	9,509	行政経営の根幹を成す行政評価制度の構築や市民意向(満足度・関心度)調査、業務改善、コンプライアンス推進などを実施する。	総務課
	人材育成事業費	7,118	時代の変化に柔軟に対応したまちづくりを行うため、自ら考え行動を起こすことができる創造的人材を育成する。	総務課
☆	コンビニ交付サービス事業費	20,969	全国約47,000店舗のコンビニで、住民票・印鑑登録証明書等が取得できるサービスを行う。	市民課
V その他の主要事業				
☆	情報格差是正事業費	50,520	携帯電話不感地域解消用の胡桃地区鉄塔整備や光ファイバー、移動通信用鉄塔の維持管理をする。	秘書・市民情報課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
・	自治基本条例検討事業費	1,197	平成27年度に設置した氷見市自治基本条例検討委員会の提言に基づき、自治基本条例を制定する。	地方創生課
・	総合型地域スポーツクラブ育成事業費	2,390	誰もが年齢や技能に応じてスポーツに取り組めるよう、総合型地域スポーツクラブの運営を支援する。	スポーツ文化マネジメント室
・	市民プール・トレーニングセンター管理運営事業費	43,713	管理運営を指定管理者である(公財)氷見市体育協会に委託する。	スポーツ文化マネジメント室
・	ふれあいスポーツセンター管理運営事業費	56,150	管理運営を指定管理者である(公財)氷見市体育協会に委託する。	スポーツ文化マネジメント室
・	小口事業資金あつ旋融資事業費	519,528	中小企業者の事業資金の円滑化を図るための貸付等を行う。	商工観光課
・	商工業対策事業費	3,880	氷見市の商工業の振興を図るため、氷見商工会議所の行う事業に補助する。また、中小企業倒産防止共済法等に規定する共済契約を独立行政法人中小企業基盤整備機構等と締結した事業者に対し、掛金に要する経費を助成する。	商工観光課
・	中小企業振興資金融資事業費	167,940	地場産業の育成と創業者の支援を図るため、資金の貸付け等を行う。	商工観光課
◇	城端・氷見線地域公共交通総合連携事業費負担金	3,928	直通化の課題について調査・検討する費用を負担する。	商工観光課
◇	北陸新幹線2次交通運行事業費	7,000	北陸新幹線からの2次交通として新高岡駅・ひみ番屋街・和倉温泉を結ぶ高岡和倉線の運行支援を行う。	商工観光課
◇	きときと食文化発信事業費	3,620	「きときとキッズお料理道場」、「魚料理教室」等の食育体験事業を通して氷見の食文化への理解を深める。	商工観光課
・	食都四季を彩る氷見三昧開催事業費負担金	600	氷見産の素材を生かした氷見三昧のメニューの創作などにより、四季を通しての氷見の豊かな食をアピールする。	商工観光課
・	漁業交流施設管理事業費〔特別会計〕	37,244	漁村文化の保存と記憶の継承のため、定置網や木造和船や漁具・民具の展示及びその維持管理を行う。	魚々座・漁業文化推進室
・	もっと魚が好きになるまち創造事業費〔特別会計〕	12,333	氷見の漁業文化の継承と発信のため、WEVマガジンの発刊と漁業文化をアーカイブ化していく。また海洋文化ラボでは、アート活動とコラボした漁業文化の体験活動のほか海洋関連書籍を集めた「海の図書館」や海洋学科の学生等による新しい子供向け教育体験プログラムの開発等を行う。	魚々座・漁業文化推進室
・	分かりやすい予算書作成事業費	3,841	市政に「理解」と「関心」深めていただくため、新年度予算の特色・概要などについて、分かりやすい予算説明書を作成し、各家庭等に配布する。	財務課
・	地方公会計制度財務書類作成事業費	11,427	固定資産台帳に基づく財務書類を作成し、現金主義会計では見えにくいコストやストックを把握し、中長期的な財政運営等に活用する。	財務課
・	高齢者総合福祉支援事業費	13,732	地域住民による給食サービス・介護予防活動を支援するほか、要介護者ミドルステイ事業、ねたきり高齢者福祉金の支給等を行う。	福祉介護課
・	地域福祉研修センター事業費	500	福祉関係専門職員の人材育成のための研修に助成する。	福祉介護課
・	障害者保護対策事業費	18,706	障害者及び障害児の保護者への福祉金の支給、身体障害者へのタクシーチケットの交付等を行う。	福祉介護課
・	障害福祉サービス支給事業費	755,658	介護給付(居宅介護、施設入所支援、療養介護、短期入所)、訓練等給付(グループホーム、自立訓練ほか)等を行う。	福祉介護課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
	・ 地域生活支援事業費	50,833	障害者が地域で自立して生活できるよう、相談支援、活動の場の提供、手話奉仕員の派遣等を行う。	福祉介護課
	・ 重度心身障害者等医療費助成事業費	177,749	重度心身障害者等に医療費の助成をする。	福祉介護課
	・ 障害者権利擁護事業費	459	障害者の権利擁護のため、虐待防止ネットワークの構築や成年後見制度の利用を支援する。	福祉介護課
	・ 介護サービス等給付事業費〔特別会計〕	5,657,972	介護サービスにかかる保険給付費を負担する。	福祉介護課
◇	包括的支援事業費(認知症支援事業)〔特別会計〕	24,413	認知症の方を集中して支援するチームの立ち上げ及び各圏域ごとの認知症地域支援推進員の配置を行う。	福祉介護課
	・ 包括的支援事業費(高齢者等見守り・SOSネットワーク事業)〔特別会計〕	1,686	認知症高齢者等とその家族を支援する地域の見守りネットワークの構築を図る。	福祉介護課
	・ 介護予防事業費〔特別会計〕	22,499	介護予防等を目的に通所型介護予防事業、介護予防教室などの様々なサービスを行う。 健康づくりボランティア支援、足腰元気教室	福祉介護課
	・ 介護予防・日常生活支援事業費〔特別会計〕	69,215	訪問介護・通所介護サービスの要支援利用者を、保険給付から地域支援事業による市が主体となるサービスへ段階的に移行し実施する。	福祉介護課
	・ 包括的支援事業費〔特別会計〕	57,880	地域包括支援センターにおいて総合的な相談や介護予防マネジメント等を行うとともに地域、民間業者と連携して高齢者の安否確認などの事業を行う。	福祉介護課
	・ 保健事業費〔特別会計〕	13,278	健康優良家庭の表彰、人間ドック費用の助成、健康教室やウォーキング教室を開催する。	市民課
	・ 後期高齢者医療事業費	638,890	後期高齢者医療広域連合へ療養給付費等の負担金を納付する。	市民課
	・ 政策的医療等交付金〔事業会計〕	335,638	救急医療、小児医療等の政策的医療を支援する。	病院事業管理室
	・ 政策医療補助金交付金〔事業会計〕	12,396	へき地巡回診療等に対し助成(県補助分)する。	病院事業管理室
	・ 医療機器等整備事業費〔事業会計〕	160,000	デジタル乳房X線撮影装置等の医療機器を整備する。	病院事業管理室
	・ 医学生・看護学生修学資金貸与事業費〔事業会計〕	7,300	医学生(氷見梓)及び看護学生に修学資金を貸与する。	病院事業管理室
	・ 交通安全対策費	4,606	交通安全に対する啓蒙・広報活動及び交通安全対策等を警察や関係機関と連携して行う。	環境・交通防犯課
	・ 防犯対策費	1,100	氷見市防犯協会の活動を支援し、警察及び関係団体と連携して防犯対策を行う。	環境・交通防犯課
	・ 環境美化推進事業費	8,296	不法投棄の防止・撤去、市民一斉清掃等を行う。 海岸清掃の実施	環境・交通防犯課
	・ カラスが住みにくいまちづくり事業費	2,295	カラス対策として、ごみ枠による防鳥対策及び清掃用高圧洗浄機による道路清掃等を行う。また、追払いの実証試験を行う。	環境・交通防犯課 いのしし等鳥獣害対策室
	・ あんしん歩行エリア整備事業費	4,550	通学路における歩行者の安全を確保するとともに、運転者へ注意喚起を行うため、カラー舗装を実施する。朝日丘住宅1号線、村上湊川線、村上2号線	建設課
	・ 交通安全施設整備事業費	5,193	交通安全施設(防護柵・区画線等)を整備し、交通事故を抑止する。市道泉川左岸線防護柵設置、市道脇方川尻線防護柵設置、市道北八代掘田線警戒標識設置	建設課
	・ 交通安全施設営繕費	8,670	交通安全施設(ガードレール・ガードパイプ等)修繕費	建設課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
◇	街灯新設等事業費	3,522	まちづくりふれあいトーク等の要望に応じて、通学路等に街灯を新設する。	建設課
	・ 街路リフレッシュ整備事業費	13,650	市街地の道路側溝を整備する。	建設課
	・ 道路空間整備事業費	12,000	市街地周辺地区の老朽化した道路側溝の改修を行う。(5箇所)	建設課
	・ 道路維持補修事業費	61,662	道路の維持補修を行う。(15箇所)	建設課
	・ 道路舗装補修事業費	34,500	損傷の著しい道路の舗装補修を行う。(6箇所)	建設課
	・ 道路構造物補修事業費	51,000	道路構造物(トンネル・橋梁・法面構造物)の点検を行う。	建設課
	・ 橋りょうリフレッシュ事業費	52,500	橋りょう長寿命化計画に基づき、老朽化した橋りょうを改修する。	建設課
	・ 辺地債道路整備事業費	85,400	吉池山川線など6路線を辺地債を活用して整備する。	建設課
	・ 市単道路改良事業費	56,200	朝日地藏2号線など3路線の改良工事を行う。	建設課
	・ 市道下久津呂深原線道路改良事業費	8,400	県道氷見志雄線と主要地方道氷見惣領志雄線をつなぐルートを整備する。	建設課
	・ 社会資本整備総合交付金道路改良事業費	35,100	鞍川往易線及び鞍川沖布線を整備する。	建設課
	・ 消雪施設リフレッシュ事業費	15,750	設置後20年を経過し、支障を来している消雪施設(向島湊線)を整備する。	建設課
	・ 道路整備地域支援事業費	10,000	地域が主体となり実施する道路関連整備事業に対し、原材料の支給等の支援を行う。	建設課
	・ 安全・安心とやまの住まい耐震化促進事業費	3,000	地震に強い木造住宅の普及を図るため、一般住宅の耐震改修に対し助成する。	建設課
	・ きれいな水づくり推進事業費	37,381	合併浄化槽を設置する個人と地域ぐるみで浄化槽整備に取り組む地域への助成を行う。	上下水道課
	・ 水田農業経営確立対策事業費	12,350	経営所得安定対策(旧農業者個別所得補償制度)を推進する。	農林畜産課
	・ 耕作放棄地対策事業費	200	耕作放棄地の復元作業等に対し助成する。	農林畜産課
	・ 多面的機能支払事業費	99,021	地域の共同活動による農地・農業用施設の適切な保全管理と施設の長寿命化に対して支援を行う。	農林畜産課
☆	飼料用米等利用拡大施設整備事業費	1,125	氷見牛の飼料用米として、地元産米の利用拡大を図るため、必要な施設・機械等の整備を進め、畜産農家の飼料自需給率の向上を目指す。	農林畜産課
	・ 竹対策事業費	2,484	汎用除草剤による竹林拡大防止の実証実験を行う。	農林畜産課
	・ 水と緑の森づくり事業費	24,189	水と緑の森づくり交付金を活用し、里山再生整備事業やみどりの森再生事業を行う。	農林畜産課
	・ 森林公園管理事業費	5,621	旧阿尾森林公園の借地料及び使用されていない施設を撤去する。	農林畜産課
	・ 海の種づくり推進事業費	150	水産資源の増殖を図るため、クルマエビの種苗の放流を行う。	水産振興課

	施策区分・事業名	事業費	事業の概要	主管課
・	水産多面的機能発揮対策事業費	2,436	水産業・漁村の多面的機能(環境・生態系保全、海難救助など)の効果的・効率的な発揮に資する地域の取組を支援することにより、水産業の再生・漁村の活性化を図る。	水産振興課
・	漁村活性化推進事業費	527	体験型教室や定置網漁の実習など、一般市民が漁業や豊かな海の恵みに対する理解を深め、また水産業関係者と一般市民の交流を促進することによって、漁村地域の活性化を図る。	水産振興課
・	定置網漁業国際協力事業費	487	国際協力・国際感覚の育成等の観点から、開発途上国への定置網の技術協力や研修生・実習生の受け入れ等を通して漁業の活性化、地域の活力を創出する。	水産振興課
・	水産物供給基盤機能保全事業費	21,000	施設の長寿命化を図るため市営漁港の機能保全工事を行う。	水産振興課
・	氷見のおさかな給食推進事業費	800	地元水産物を学校給食等に導入するための体制を構築し、魚食の普及を図る。	水産振興課
・	氷見の鰯を知ろう事業費	840	小・中学生が、鰯のさばき方を見学し、鰯を味わうことにより、魚食文化について理解を深める。	水産振興課
・	富山大学理学部・氷見市連携研究室等活用事業費	7,982	ひみラボ水族館の設備を充実するとともに、小中高校生の学習活動や里地・里山の生物研究の拠点として活用する。	教育総務課
・	「論田・熊無の藤箕製作技術」保存対策事業費	2,000	国指定重要無形民俗文化財「論田・熊無の藤箕製作技術」について、周知活動、後継者の育成及び学習会の開催等を行う。	教育総務課
・	特別展開催事業費	2,520	特別展「氷見の昔の道具たち(仮称)」、「四角い古墳・丸い古墳(仮称)」を開催する。	博物館
・	防火水槽新設事業費	19,500	耐震性防火水槽2基を新設し、消防水利の確保を図る。	消防本部
◇	消防自動車購入費	90,322	老朽化した化学消防ポンプ自動車及び分団消防ポンプ自動車を更新する。	消防本部
・	小型動力ポンプ購入費	2,546	3地区で小型動力ポンプを更新する。	消防本部